

## 【別紙12】利用者権限一覧

No	資料名	内容
1	業務グループ定義書	システムの利用者が各システムを使用する際の業務(画面)の集まりを1つの業務グループという単位に纏め、システム別、部局別に定義する。 定義する内容は以下の通り。 ・業務グループ番号及び名称、業務内容、担当所属、処理対象範囲
2	所属権限管理表	各所属が使用可能な業務グループを定義する。 ここで定義した内容を使用して業務権限設定画面(※)で選択可能な業務グループを絞り込む事により、システム利用者に使用可能範囲外の権限を適用する事を防止する。 (※)システム利用者個人に対して権限を設定する画面
3	業務グループ管理表	利用者が使用可能な画面及びその画面に対するアクセス権限を、業務グループ毎に定義する。
4	権限コード管理表	業務グループ管理表で画面毎に定義する権限コードの仕様を定義する。 所属マスタDBで管理される各所管課情報を元に、権限コード毎の参照範囲を限定する。 権限コードは「参照範囲コード」、「操作レベル」、「項目レベル」で構成される。 所属権限管理表で定義されたシステム利用者に対する権限レベルを定義
5	所属マスタ 各所管課情報一覧表	所属マスタDBで管理される各所管課情報の一覧。既存の人事管理者コードや給与管理者コード以外に、新たに6種類の所管課情報が追加される。 権限コードの参照範囲コード毎にこの所管課情報を参照し、参照範囲を限定する。

